

アットホーム 空き家・空き地バンク通信 Vol. 2

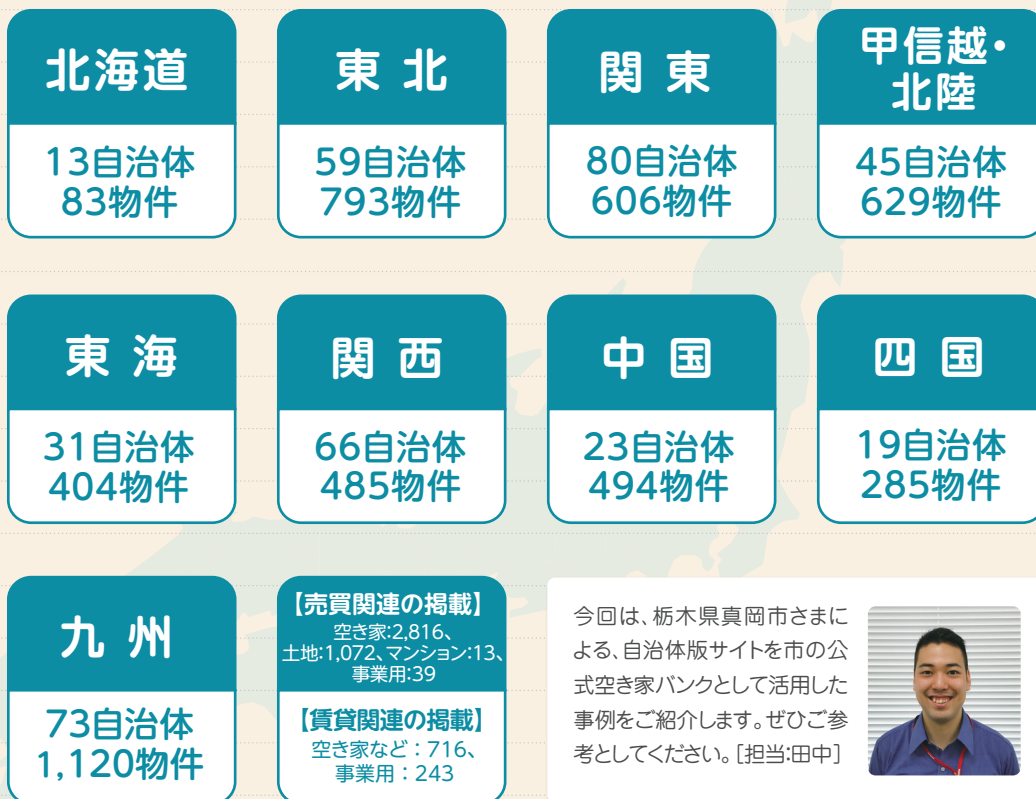
(アットホームは、空き家・空き地バンクサイトを通じて自治体さまを応援しています)

2017年10月から国土交通省のモデル事業として運用を開始しました「全国版空き家・空き地バンクサイト」に参画いただいている自治体の皆さまに、空き家・空き地バンクの有効活用に向けた情報として当通信をお届けいたします。

「全国版空き家・空き地バンクサイト」掲載状況

【2019年6月30日時点】

参画自治体：409 掲載物件：4,899 成約実績：1,482



1.お知らせ

当社では、自治体さまからの情報配信の場として、空き家・空き地情報だけでなく、「地域の魅力」や「移住・定住、子育て支援等に係る補助金や助成制度」の情報を一元的に検索することができる「知って得する! 全国自治体支援制度」を設置しております。各自治体さまよりJOINのシステムにご登録いただいた情報が連動して、定期的に最新情報に更新、仕事・子育て・結婚・住まい購入など、補助金や助成金といった金銭的支援をはじめ、就学・就労支援・移住体験などのさまざまな支援制度をご案内し、積極的に移住希望者へのサポートへ取り組んでおります。ぜひご利用ください。

※ご利用にはJOINシステムへのご登録が必要です。未登録の自治体さまにつきましては、ご登録をお願いいたします。

「全国自治体支援制度」へのアクセスはこちら

当社サイト(全国版空き家・空き地バンクサイト)の「全国自治体支援制度」よりご覧いただけます。



2.自治体をピックアップ〈栃木県真岡市のご紹介〉

「自治体版」をご利用いただいている栃木県真岡市のご担当の方にお話を伺いました

栃木県真岡市は、栃木県の南東部に位置し、山地や大河を抱える自然豊かな人口約8万人の農業・商業・工業がバランスよく調和した理想的な地方都市です。以前は独自サイトを開設していましたが、カスタマイズ可能な拡張性のあるアットホームの自治体版を市の公式空き家バンクにすることで、PRツールとして利用できるだけでなく、物件情報の登録・公開作業などの業務に係るコスト削減が図れていると感じています。



▲ 自治体公式ホームページ
URL: <https://www.city.moka.lg.jp/>



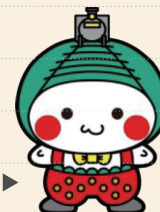
サイトはカスタマイズ可能なので、市の魅力を視覚的にも紹介できています。

サイドメニューに売買・賃貸別を設け、ユーザーによりわかりやすい仕組みにしています。

▲ アットホーム「自治体版空き家・空き地バンクサイト」
URL: <https://moka-c09209.akiya-atohome.jp/>

いちご生産日本一として、2020年3月14日・15日には「全国いちごサミット inもおか2020」を開催します。皆さまのお越しをお待ちしております。

真岡市イメージキャラクター「もおかびよん」
(C)真岡市



3.市況データ

地場の不動産会社における景況感の声を集めました(2019年1~3月期) ※アットホーム調べ

本調査で用いている数値は、地場の不動産店に、自社の「業況(*注1)」に関するアンケートを実施し前年同期と比較して「良かった(100)」「やや良かった(75)」「前年並み(50)」「やや悪かった(25)」「悪かった(0)」でご回答いただいたものの平均です。

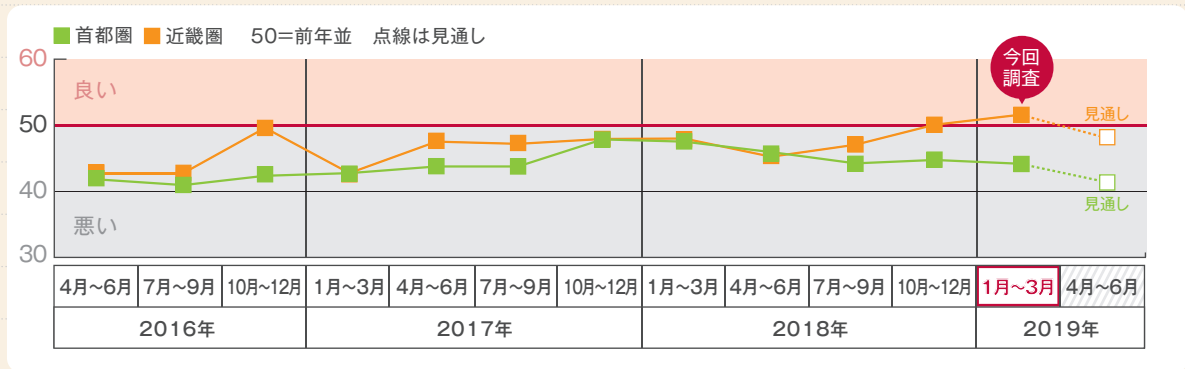
※50を境にそれ以上なら「良い」、それ以下なら「悪い」を意味しています。*注1 業況:各業種別、企業規模別などに判断する、ある時期の景気の状態。

売買仲介の景況感

■ 首都圏における今期売買仲介の業況はDI=44.0で前期比-1.2ポイントと3期連続の低下。

■ 近畿圏はDI=51.5で前期比+1.3ポイントと2期連続の上昇。

前年同期比も+3.1ポイント上昇し、前回の調査に引き続き、調査開始以来最高値を更新した。



首都圏の不動産店の声 (抜粋)



相続や親の介護、入院などでの自宅(親の家)の解体、売却が多かった。(埼玉県狭山市)

近畿圏の不動産店の声 (抜粋)



若い世代の方が多い。新築に対して、建物へのこだわり部分が昔と比べると減っている。(京都府亀岡市)

その他エリアの不動産店の声 (抜粋)



住宅購入希望者の年収と年齢層が下がっている。立地や間取り利便性よりも価格重視のお客さまが多かった。(宮城県仙台市)

調査概要

- 対象/北海道、宮城県、首都圏(1都3県)、静岡県、愛知県、近畿圏(2府1県)、広島県、福岡県の13都道府県のアットホーム全国不動産情報ネットワーク加盟店のうち、都道府県知事免許を持ち5年を超えて仲介業に携わっている不動産店の経営者層
- 調査期間/2019年3月12日~3月24日(四半期毎に調査)

本調査結果およびバックナンバーは下記より

当社サイト(<https://athome-inc.jp/>)のニュースリリース「市場動向」からご覧いただけます。



Real Estate Circulate and Trend Magazine

不動産流通

不動産市場の動向
ビジネストレンドが
この一冊で!!

不動産業界
唯一の
専門月刊誌



毎月5日発行・B5判

料金は税別です。別途消費税がかかります。

年間購読料

9,333円(税別)・送料込

本体価格

857円(税別)・送料込

購読のお申込み・お問合せは

<https://shop.re-port.net/>
Tel.03-3580-0791

発行:株式会社不動産流通研究所
編集協力:国土交通省土地・建設産業局不動産課、住宅局住宅総合整備課

4.ワンポイントアドバイス



撮り方で物件の良さが格段に変わるテクニック



アングル

撮影する際はできるだけ部屋の四隅ギリギリから、広く見えるように撮影すると良いでしょう。レンズを変えることができるカメラでは「ワイドレンズ」「広角レンズ」といった名称のレンズを選ぶと良いでしょう。



広角レンズでない例



広角レンズをつけて撮影した例

明るさ・色合い

明るく清潔な印象を持たせるために、撮影前に、露出補正*1やホワイトバランス*2の調整を行いましょう。

*1 露出補正:カメラの自動露出(AE)機能で設定された露出に対して、意図的に明るさを微調整すること。

*2 ホワイトバランス:どのような光の下でも白いものが白く映るよう、適切な白色を再現するため、色の補正(調整)を行う機能のこと。



補正前の例



補正後の例

構図

物件などの撮影時に、特におすすめしたいのは「三分割構図」です。「三分割構図」とは、タテ・ヨコそれぞれを三分割し、その線上や交点上に主要なパーツを配置する構図です。



アットホームは、不動産にかかわる皆さまのお役に立てるよう、さまざまなサービスをご提供します。

当社は1967年に我が国で初めて不動産情報サービスをスタートし、現在、全国55,000社以上*のアットホーム加盟・利用不動産店の方々へ不動産情報メディア・不動産業務ソリューションなどを提供しております。「全国版空き家・空き地バンクサイト」を通じて自治体さまを応援して参りますので、何かお困りの点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

at home



*2019年7月1日現在

詳しい内容につきましては、お気軽にお問い合わせください。

アットホーム「空き家・空き地バンクサイト」相談窓口

●カスタマーセンター ナビダイヤル Tel.0570-01-1967 または Tel.045-330-3410 ●Mail : akiya_soudan@athome.co.jp